

2024年初夏小児科クリニック開院

2024年初夏に、大阪市鶴見区安田4丁目(グループホーム安田1階)に小児科クリニックを開院します。鶴見区は小児科クリニックが不足しているため、地域貢献の一環として取り組みたいと考えています。

クリニックでは、子どもの健康管理はもちろんのこと親の心の健康も大切に考え、家庭が幸せな場所になるように心がけます。また、予防医療と健康的な生活習慣の啓発を通じて、子供たちの健康を促進し、お母さんが笑顔で過ごせる家庭、子どもがのびのび生きられる世の中を大切に考えます。保護者に対して子育てのサポートを提供し、育児教育セミナーや情報パンフレットの提供など親の不安を軽減します。クリニックは子どもたちとその家族にとって心地よい場所となり、笑顔で過ごせる家庭をサポートしていきます。

院長紹介



はじめまして。中村訓子です。
お子様たちの健康と成長をサポートするために心をこめて診療にあたってまいります。どんな些細なことでも、ご相談ください。



つばき



第89号 発行日：2024年1月1日
発行者：社会福祉法人 椿福社会
発行責任者：松田明美

〒538-0031
大阪市鶴見区茨田大宮2丁目2番25号
TEL 06-6911-1002 FAX 06-6911-1006
WEB <http://tsubaki-fukushikai.com/>

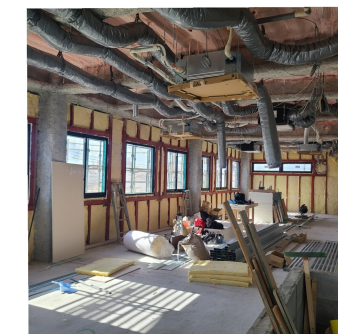
新年あけましておめでとうございます

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、新型コロナウイルス感染症分類が2類から5類へと変わったことで、ウイルス対策の認識が変化しましたが、それ以前の3年間は感染症の未知の対応に追われ、私たちはじっと耐えるしかありませんでした。当法人でのクラスター発生、面会制限等では、利用者をはじめ関係者の方々にはご心配やご不便等をおかけいたしました。ご理解とご協力をいただきましたことにこの場をお借りして感謝申し上げます。今年4月に鶴見区安田に新築移転するつるみ更生指導所(仮称クレヨン)は、コロナ禍と同時進行で着実に進めてまいりました。この事業は法人設立30周年を迎えた節目の新規事業ですので大変意味深い事業です。当法人の福祉とは、「普通に暮らすこと」を支える法人でありたいと思っています。現在、少子化、人口減少など社会構造の大きな変化に直面しております。椿福社会としても、そうした社会の変化に適応していくために、我々の事業も常に変化を遂げていかなければならないと考えております。本年も、ご利用いただいている皆様、地域の皆様、そして職員の皆様にとって、欠かすことのできない法人となれるよう誠心誠意努めてまいります。

持続可能で魅力ある法人運営のために、ご指導、ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。本年が皆さま方におかれまして良い一年となりますよう心より祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人椿福社会
理事長 高部真実
2024年元旦



編集後記

あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひ致します。

段々寒くなる時期ですが、いかがお過ごしでしょうか。

私は最近、指編みを始めました。始めはとても難しく、ネットで調べた動画を参考に作りましたが見本とは程遠い編み物になってしまいい何度かやってみよううちに綺麗に完成しました。

完成したものは十月三十一日のハロウィン行事で女性の仮装に使用しました。皆さんとても可愛いく出来上がりさらにカチューシャの上にも飾りつけてハロウィンの雰囲気を楽しみました。皆さんもぜひやってみてください。

(つるみ更生指導所 後藤)

勉強会を開催しました

12/4～12/10は人権週間です

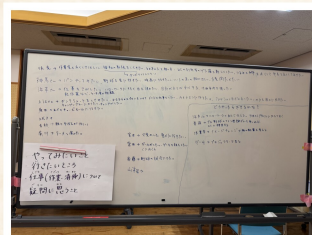
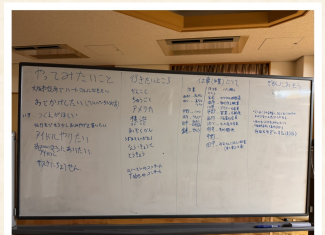
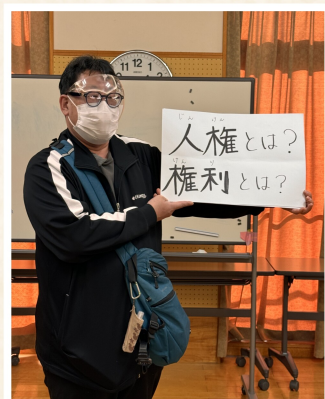
人権週間に前にワークセンターつるみの郷では生活介護・就労B型それぞれでグループを作り、自分自身のやりたことを発表してもらいました。人権とは、「人が人として、社会の中で自由に考え、自由に行動し、幸せに暮らせる権利」のこと。権利とは、「人として当たり前のこと」「して良い事」「してもらえること」だと説明しました。

まず、生活介護の利用者さんは「人権ってなにー？なんか難しい言葉やな」と少し内容が難しい様子でしたが、各々やりたいことや行きたい場所などのたくさんの意見が出ました。最後には、自分自身の意見は我慢せず話していいんだという事を一緒に確認し、人権研修を締めくくりました。感想では「自分の意見が言えて良かった」や「人権って難しいな」「また、学習したい」と色々な意見が上がり、思いを伝える良い機会になりました。

次に就労B型の利用者さんからも「難しい」「わからない」と言った声が多数ありましたが、希望などについてグループで話し合っていく内に「ワークセンターで野球のチームを作って試合に出たい」と言った意見が出て、「それいいね」「一緒に練習しよ」など前向きな反応がありました。その他で印象的だったのは、「なんで注意されているのかわからない」という意見があり、何も解らないまま注意の言葉を聞いていたようで、一方通行な支援があることに職員も気付く機会になりました。

人権や権利といった言葉は難しい様子でしたが、自分の思いを伝える場面ではスラスラと意見が出て、実現するための方法も皆で話し合うと、職員では思いつかないような意見も出ていたので、これからも定期的に意見を話し合う機会を作っていきたいと思います。

(つるみの郷 浅野、ワークセンターつるみの郷 竹尾)



茨田東マルシェ



11/18(土)開催の地域行事「茨田東マルシェ」に就労B型製パン担当が参加しました。今回のマルシェのテーマは「SDGs」と言うことで、ワークセンターでは食品ロスをテーマに、普段捨てられてしまう食パンの耳を使ったラスクを50円で販売しました。その他、ラスクや菓子パン調理パンなどを販売し、一人暮らしが多い地域の方のニーズを考え食パンの少量パックを作り、高齢者向けのあんパンや黒豆パン、季節のサツマイモを使ったパンを作りました。高齢のお客

様が来られた際に「このラスクは固くない？」と聞かれ、食パンの耳を使用している為市販のラスクよりは食べやすいですと伝えたところ「そうなんですね」と喜ばれ購入されました。販売開始から2時間ほどで完売するほど売れ行き好調でした。このような取り組みが増え、食品ロスが少しでも減るといいなと職員、利用者さん共に感じたマルシェになりました。

＜ワークセンターつるみの郷 竹尾＞



あまくておいしいひととき

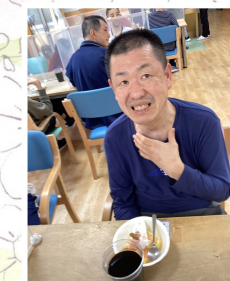
毎月恒例となったお菓子作りに、今回は男性の利用者3名が参加しました。プリンにフルーツ、生クリーム、チョコスプレーでトッピングし、仕上げにジンジャービスケットをのせました。工程が多かったのですが、説明を聞きながら真剣な表情で41名分を完成させてくれました。

1番苦戦したのは、生クリームを絞る工程で、ほどよく力を入れて握りながら下向きに絞り出すことが難しく、時間がかかりました。できあがりにはカラフルで美味しそう！3名とも笑顔で各フロアに戻り、「プリン作っ

たよ」「当番頑張ったよ」とみんなに報告をしていました。

午後から食堂に移動し、みんなで食べました。豪華に盛り付けられたプリンを見て「人形のクッキーかわいい」「美味しそう」「早く食べたい」と様々な感想が聞こえ、食べ始めると「美味しい！」とあっという間に食べ終わりました。最後に作ってくれた3人に「ありがとう」と「ごちそうさま」を伝えると、3人は少し照れた表情で返事をしていました。

＜つるみの郷 藤本＞



賢沢ランチ～in 六甲山牧場～



日帰り旅行で六甲山牧場に行ってきました♪
お天気に恵まれ、観光バスの移動でも大きな渋滞なく、楽しく過ごすことができました♪

六甲山牧場に到着してすぐに予約していたレストランでステーキコースを食べました。使い慣れないフォークとナイフを使って四苦八苦しながらも、上手に切り分けて食べていました。生野菜は食べないと話していた方も美味しく残さず食べていました♪

お腹が一杯になり、牧場内の散策をしました。秋になり寒暖の差が気になりましたが、馬やウサギ、羊を観ながら高低差のある敷地内を歩いたので体が温まりました。羊や馬を撫でたり、山羊に餌をあげたり、

動物たちと一緒に写真を撮ったり、シーブドックショーを観たりとたくさんの体験をしました。

最後に、フローズンヨーグルト作りに挑戦しました。液体だったクリームが、混ぜている間にどんどん固まってくると「もういいかな?」「できたかな?」と早く食べたい様子でした。できあがったフローズンヨーグルトは、天気が良かったので外のベンチに座って食べました。帰りのバスでは、たくさん歩いたので、疲れて皆さん気持ちよく寝るのかと思いましたが、元気におしゃべりを楽しまれていました♪

＜グループホームつばき 五島＞

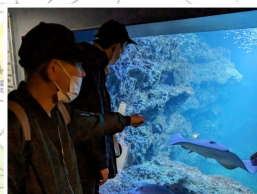


バスツアー



11月17日(火)に観光バスに乗って京都水族館と京都鉄道博物館に行きました。京都水族館ではペンギン、クラゲ、アザラシなどさまざまな生き物を見ました。特にオオサンショウウオはとて大きく165センチあることを聞くと皆さん驚いていました。イルカのショーも観賞し、イルカのジャンプや泳ぐ速さを見て、驚きつつも楽しんでいました。水族館から鉄道博物館に移動して昼食にしました。皆さんそれぞれでメニューを選び、ハンバーグプレ

ト、ラーメン、柴漬けピザ、関西プレートが人気でした。昼食を食べ終えて各班に分かれ、館内を見て回りました。切符を購入し改札機に入れて切符をもらう体験や大きいジオラマを鑑賞したり、SLスチーム号に乗って景色を楽しんだり、車掌室に入って機械に触れたりなど色んな体験を楽しみました。最後に家族や自身のお土産を購入し、電車の車庫前で記念撮影をしてバスツアーを終えました。＜つるみ更生指導所 後藤＞



今後の法人の事業展開について

今後の法人事業展開として第1に2020年度に取得しました安田4丁目の土地に老朽化が進むつるみ更生指導所(生活介護事業)の移転、建て替え工事を来年3月の竣工めざし、急ピッチで工事がすすんでいます。また新施設の名称を「つるみ更生指導所」から「クレヨン」に変更します。

第2に小児科クリニックを初夏に開院します。鶴見区では小児科クリニックが不足しているため、地域貢献の一環として取り組みます。場所は、安田バス停前のグループホーム安田(4階建)の1階部分で、改築工事を年明けより実施します。通所施設クレヨンとあわせて鶴見区における新たな福祉・医療の拠点となれるよう準備をすすめていきます。

厚生労働省は来年度より障がい者支援施設に入所する人に身近な地域での生活を希望するかどうかの把握と担当者の配置等を義務付ける方針を有識者検討会に示しました。今後つるみの郷でも大阪市施設入所者地域移行促進事業等の活用及びグループホームの見学・体験、地域活動等の地域移行の取り組みを具体化していきます。また、コロナ禍で利用を制限していましたが、入所施設及びグループホームの短期入所の受け入れを積極的に実施していきます。

椿福祉会は設立誕生して30年を迎えました。これからもこの地域で微力ながら福祉を牽引できる法人となり得るよう毎年検討と見直しを行います。また、地域福祉の推進を責務として、これから迎えるニーズの多様性時代に、制度では対応できない様々な生活課題に対し、柔軟かつ迅速に対応していけるように努めてまいります。

＜常務理事 下中＞

研修部会活動報告

研修部会は、「人材育成の基本方針」「支援サービス現場で、基本技術や支援スキルを学ぶ」といった部会の方針の元、部会責任者、部会員で研修の計画、企画を進めてきました。人権研修は毎年、法人全職員を対象に取り組んでいますが、今年度は大きく分けて人権研修、レポート研修、階層別研修、交換実習を開催してきました。

内容を少し紹介させていただきますと、まずレポート研修は職員を勤続年数ごとに分け、各階層に学んでほしい資料を用意し、個別学習でレポートを提出するというスタイルです。外部研修に参加する機会が減少する中、法人内でできる取り組みは何かを模索して、昨年から取り組んでいます。

ここ数年はコロナ禍で思うような研修ができずにいましたが、少し落ち着いてきたこともあり、対面での研修にも取り組むことができました。中でも新人職員の質問に先輩職員がアドバイスをする形の「事例検討会」は、所属する事業所以外の職員と意見交換ができる貴重な時間となりました。交換実習も同様で、通所系・入所系の職員が入れ替わって仕事を体験することにより、それぞれの取り組みについて理解を深める機会となったようです。

初めて、あるいは久しぶりに研修に参加する職員が多数で戸惑いの声もありましたが、研修を終えると受けて良かったといった声がたくさんありました。引き続き各種研修を今年度中に実施することとなっておりますので、研修部会として職員の知識、技術向上に繋げられるよう取り組んでいきたいと思っております。

＜つるみ更生指導所 西川＞



